

高度先進口腔医学演習

Seminar of Highly Advanced Stomatology

キーワード

- ① 包括的歯科診療
- ② 歯科補綴
- ③ 歯周病
- ④ 口腔外科
- ⑤ 隣接医学

授業概要

包括的歯科診療実践のための、各専門分野の臨床、診断演習、および治療術式の修得を行う。特に(1) 歯冠補綴、インプラント、歯周治療、矯正治療、外科手術、など各専門分野の臨床に関する講義、(2) 矯正治療に関わる歯周病学的背景に関する講義、歯周矯正治療の診査、診断、包括診療の講義および実践、(3) 不正咬合の背景因子としての顎変形症に関する講義、外科矯正治療の診査、診断、包括診療の講義および実践、(4) 顎口腔機能異常の診査、診断、包括診療の講義および実践を行う。以上の演習から俯瞰的な判断を行う素養を身につけ、各大学院生の研究活動における多角的な検証を行うことを目的として開講する。

授業科目の学修目標

- ① 歯科各専門領域および隣接医科領域の包括診療概論により、包括診療の意義を修得し、実践手法を身に着ける。
 - ② 包括診療連携の診断および治療計画の立案を実践する。
- 以上の演習により、包括診療を遂行するため各科の専門性の概要を認識し、全身を含めた俯瞰的な判断に基づく診断力を養う。

授業計画

- ① 包括診療概論Ⅰ(ケースプレゼンテーション1): 歯科補綴学の講義 6コマ 児玉利朗
- ② 包括診療概論Ⅱ(ケースプレゼンテーション2): 歯周病学・インプラント学の講義 6コマ 有坂博史
- ③ 包括診療概論Ⅳ(ケースプレゼンテーション3): 歯科矯正学の講義 6コマ 市邊義章
- ④ 包括診療概論Ⅴ(ケースプレゼンテーション4): 隣接医学の講義 6コマ 井野智
- ⑤ 包括診療カンファレンス総合演習 6コマ 不島健持

教科書および参考書

Science and Practice of Occlusion, McNeill C. (ed.), Illinois, Quintessence Publishing Co. (1997)
臨床歯周病学とインプラント 【基礎編】 , Lindhe J (第四版) , クインテッセンス. (2005)
Contemporary Orthodontics, Proffit, W.R. Fields, Jr. A.W., Sarver D.M. (4th Eds.), St. Louis, Mosby co. (2007)

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

高度先進口腔医学の各分野で修得した知識と技術を復習、整理し演習に臨む。
各分野の臨床実習で認識した包括的診療の意義、課題を整理し演習を実践する。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 包括診療における歯冠補綴修復治療の役割に関し説明できる。
- ② 包括診療における歯周病治療、インプラント治療の役割に関し説明できる。
- ③ 包括診療における歯科矯正治療の役割に関し説明できる。
- ④ 歯科口腔領域の疾患と、全身症状との関わりに関し説明できる。
- ⑤ 各専門領域合同のカンファレンスにて、包括診療の治療計画を立案し説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	40%	60%	0%	0%	0%

評価の要点

- ・ 包括診療概論Ⅰ～Ⅳの講義終了後、知識の理解度と実践応用への展開能力を評価するよう、レポートを提出させる。10%×4回=40%
- ・ 診断カンファレンスにて、治療計画に関し発表させ、臨床能力を評価する。60%

理想的な達成レベルの目安

高度先進口腔医学演習の理想的な達成レベルは80%以上とする。